



千葉県循環器病センター
認定看護師チーム

2020年3月発行
Vol.33

各分野で患者さんへの支援の質向上を目指して取り組んできました。
その活動内容を報告させていただきます。

糖尿病看護認定看護師	西原 晴美
集中ケア認定看護師	宮崎 智雄
慢性心不全看護認定看護師	湯浅 めぐみ
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	白土 裕子



認定看護師通信

「今年度の取り組み報告と支援の提案」

糖尿病看護認定看護師 西原晴美

糖尿病透析予防指導：eGFR 低下速度を確認する事的重要性

現在の eGFR（糸球体濾過量）から腎臓の重症度を評価せず、年間の低下速度から評価してください。
（年間 5 以上 年間 20%以上の低下は腎症が急速に進行している事を示します。）

自己注射指導：CGM 装着とローテーション指導の有用性

HbA1c8%以上の患者さんにおいては、注射剤の吸収不全部位が有意に多く発生しています。看護師の触診だけでは発見できません。CGM の装着・CT でのアミロイド沈着の確認により吸収不全部位を特定し、吸収不全部位を避けた、ローテーション指導により HbA1c が改善しています。HbA1c7%以下の患者さんにおいては、遷延する無自覚が発見され、インスリン量の減量につながりました。
eGFR45 未満の腎機能低下患者さんでは、GLP1 受容体作動薬単剤でも夜間遷延する低血糖が出現しています。（低血糖予防として夕食における糖質の過剰摂取を控える様伝えて下さい。）

「患者に合わせた術前呼吸訓練の関わりについて」

集中ケア認定看護師 宮崎智雄

全身麻酔で侵襲の大きな手術を受ける場合、呼吸器合併症が起きやすく、予防のために呼吸訓練が必要であるといわれています。当病院の特徴として、心臓の機能が低下している患者が多く、同じ呼吸訓練方法を一律に行うと、心臓の機能が低下している患者によっては心臓機能を悪化させてしまうことがあります。そのため、患者さんに応じた呼吸訓練方法を選択する必要性があり、呼吸ケアチーム内で呼吸訓練方法スクリーニングシートを作成しました。アメリカ呼吸療法学会の臨床ガイドラインによると、呼吸訓練頻度は1セットにつき5~10回、1日で約100回行い、手術の2~4週間前から行うと良いとされています。外来で手術が決定された早くの時期に、患者に合わせた呼吸訓練方法を選択し、適切に行ってもらうことで、呼吸器合併症を予防できるように準備を進めています。

「糖尿病をもつ心不全患者への外来での関わり」

慢性心不全看護認定看護師 湯浅めぐみ

循環器疾患を抱える患者は、高血圧・腎障害・糖尿病といった併存疾患をもつ心不全患者が多く、特に糖尿病を抱える心不全患者が多くいます。糖尿病や心不全は慢性疾患であり、継続した疾患管理が必要となります。

活動報告会にて糖尿病コントロールが不良である心不全患者に対して、継続的な面談を行い、糖尿病看護CNと連携することで専門的な視点から患者によりよい介入支援ができ、患者の心身の安寧がはかれ、検査データの改善・セルフケアの継続につながった事例を経験しました。今後、心不全患者の生活の質の維持ができるために「患者の生活」を考えながら、慢性疾患を抱える患者の思いを大事にして、継続して自信が持てるように外来支援を継続していこうと考えています。

みなさん、一緒に心不全患者を支えていきましょう。



「脳神経外来におけるサルコペニア予防への取り組み」

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 白土 裕子

今年度、脳神経外来ではサルコペニア予防の一環として、運動パンフレットを用いて18名の患者対象に継続的に運動指導を実施しました。外来受診の度に体成分分析装置を用いて全身筋肉量の測定を実施し、簡易栄養状態評価でスクリーニング後、対象患者さんには栄養指導を行ってきました。台風の影響で被災した患者さんの中には食事量の変化や運動量の低下により全身の筋肉量が一時的に低下している患者さんもいました。筋肉量を増加するためには運動だけでなく栄養とのコンビネーションが必須となってきます。今年度は栄養状態の評価時、食事内容や摂取量は外来看護師による口頭での聞き取りでした。そこで、次年度は患者さん自身に実際に摂取している食事内容と食事量を記録してもらい、受診時に栄養指導を実施することで運動と栄養の両面から支援していこうと考えています。

心不全療養指導士認定制度が開始します

心不全療養指導士は、様々な医療専門職が質の高い療養指導を通し、病院から在宅、地域医療まで幅広く、心不全患者をサポートすることを目指して取得する学会認定資格です。

《資格条件》看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、作業療法士などの国家資格を有する。

日本循環器学会（正会員・準会員）であること・年会費を納めていること

現在、心不全療養指導に従事している など（詳細は日本循環器学会HP参照）

2020年8月から申請開始です。

